

前回（9/14）いただいた主な意見

（日本の主体性・自立性について）

- 1-1 世界の動きが激化する中、日本が主導権をもって進める科学ミッションが重要
- 1-2 月探査については、なぜ日本が月に行くのかという意義を明確化することが必要
- 1-3 国際宇宙開発の中で、日本独自の付加価値や役割を打ち出していくことが重要
- 1-4 日本が不可欠なパートナーとして存在感を発揮し、科学外交に役立てるという視点が重要
- 1-5 科学の価値を学術的成果だけでなく、産業・安全保障・外交等への波及効果も含めて位置付けることが重要

（人材育成について）

- 2-1 宇宙科学が持つ高い人材育成機能を、どのように民間企業に広げるべきか考える必要
- 2-2 安全保障等の需要拡大による、民間事業者の多忙化・人手不足を踏まえ、小型・中型ミッションや宇宙実証の機会を確保し、技術実証と人材育成の好循環を生み出すことが重要

（研究開発について）

- 3-1 JAXA による民間への実験の機会、施設、ノウハウの共有が重要
- 3-2 日本は多くの要素技術を積み上げてきている中、日本全体の目指すべき方向性を踏まえた横断的な戦略が必要
- 3-3 国内需要だけでは維持・発展が難しい技術について、どのようにサプライチェーンを確保していくべきか考えることが重要
- 3-4 将来の有人輸送や再利用型宇宙輸送につながる重要技術として、大型回収技術をどのように考えるべきか
- 3-5 月の科学探査と有人活動を一体的に捉えた、中長期的な戦略を検討すべきではないか。